

琴浦町子育て関連ニーズ調査結果

琴浦町では、妊娠時から子育て期にわたる支援を切れ目なく提供し、安心して子育てが出来る体制を築くため、妊婦と就学前児童の保護者を対象にニーズ調査を実施しました。

「妊婦調査」の集計結果は『資料1』、「就学前児童世帯調査」の集計結果は『資料2』を参照ください。

【調査の概要】

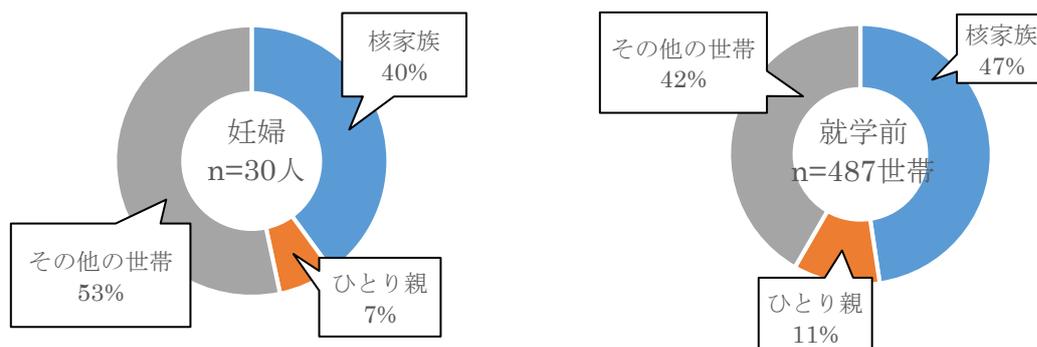
	① 妊婦調査	② 就学前児童世帯調査
調査対象	・平成29年8月31日までに妊娠届出書を提出し、出産予定日が平成29年10月以降の妊婦	・町内に居住する平成23年4月2日～平成29年8月31日に生まれた、就学前児童のいる世帯
調査方法	・返信用封筒を同封し郵送	・町内保育園およびこども園在園家庭に、園を通じて配布し回収 ・町内保育園およびこども園に在園していない家庭は、返信用封筒を同封し郵送
調査期間	平成29年9月5日～9月22日	平成29年9月5日～9月22日
回収状況	対象者数：60人 提出者数：30人 回収率：50%	対象者数：593世帯 提出世帯数：487世帯 回収率：82.1%

※就学前児童：小学校入学前の児童

1 世帯の状況について

(1) 世帯の分類

世帯の状況を同居者別に、「核家族」「ひとり親」「その他の世帯」に分類し、現状及びニーズを分析しました。妊婦調査、就学前児童世帯調査（以下「就学前調査」という）の分類は、下記のグラフのとおりでした。



※核家族：子（又は胎児）の父母と、子（又は胎児）の兄弟のみの世帯

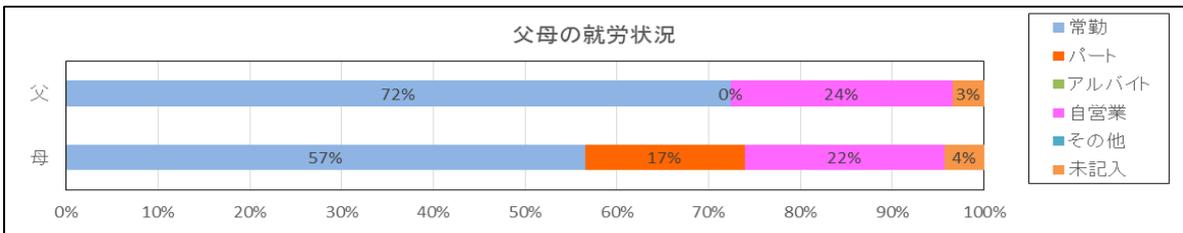
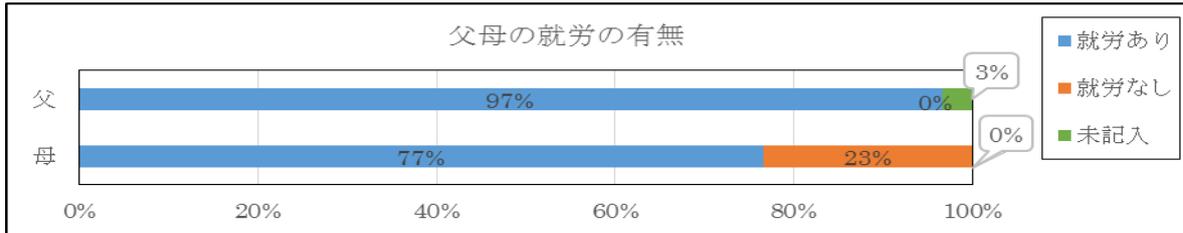
※ひとり親：子の父又は母が、同居者に「パートナー」を選択しなかった世帯

胎児の母が、同居者に「パートナー」を選択しなかった世帯

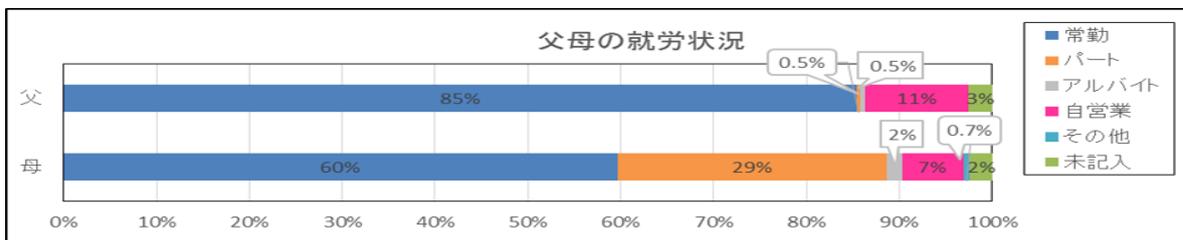
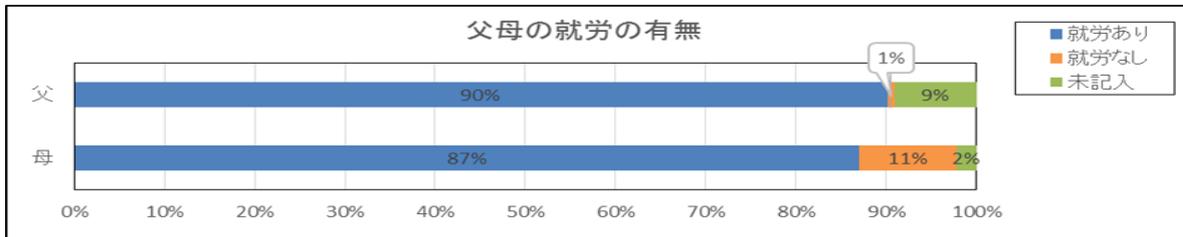
※その他の世帯：子又は胎児の父母と、子又は胎児の兄弟、祖父母等その他の同居者がある世帯

(2) 父母の就労状況

【妊婦調査】



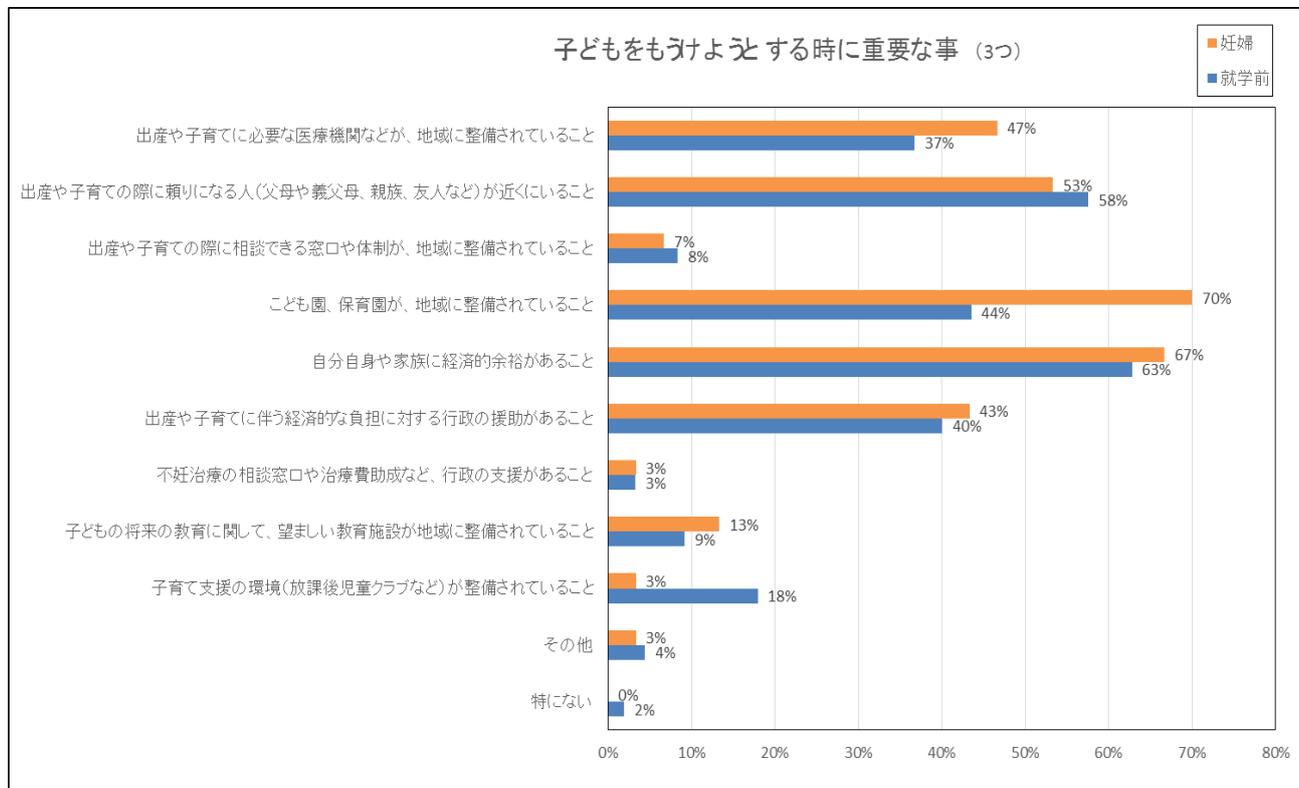
【就学前調査】



- ・母の就労状況で「就労あり」は、妊婦調査 77%、就学前調査 87%と、働きながら子育てをしている割合が非常に高い。

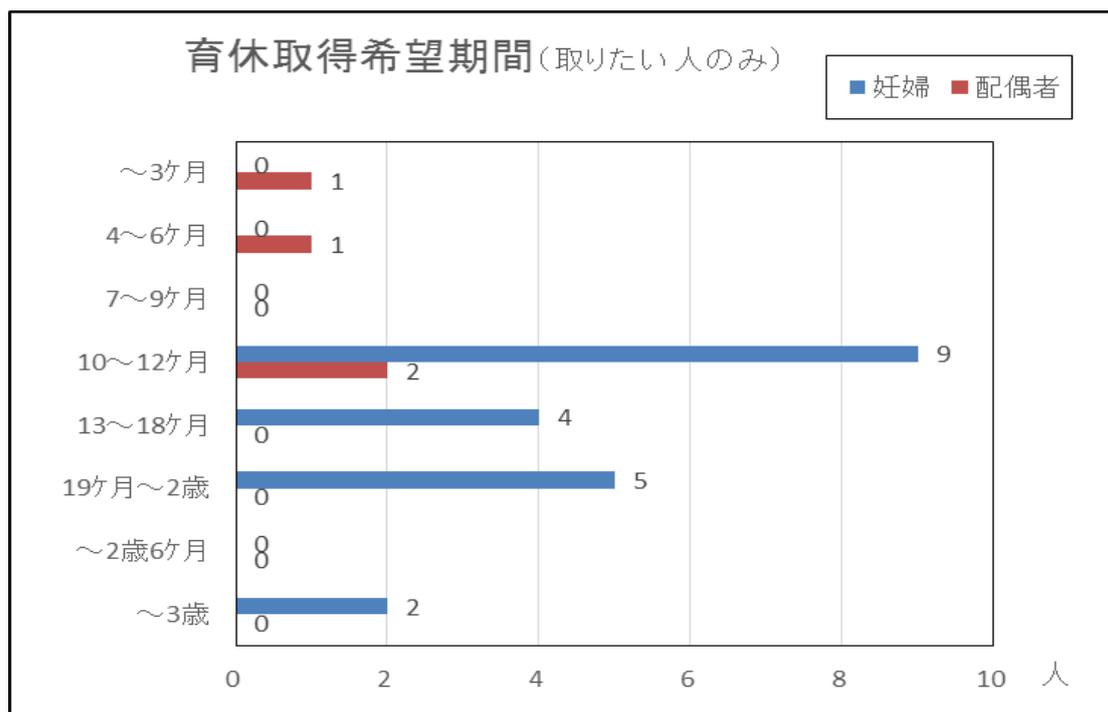
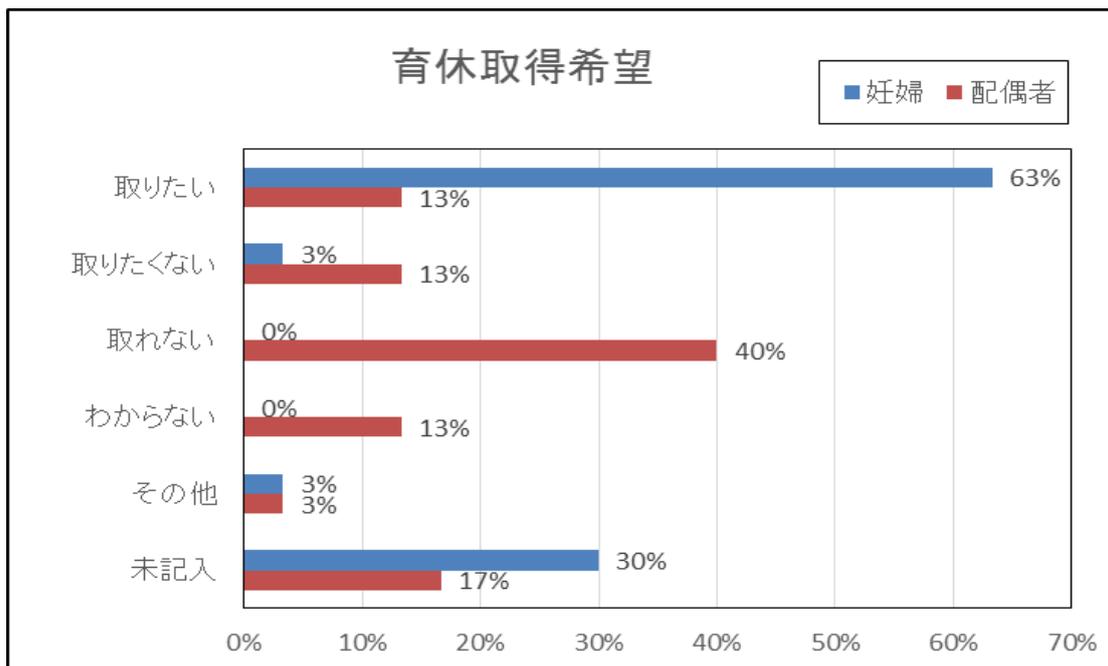
2 妊娠・出産・育児に関して重要な事、困り事

(1) 子どもをもうけようとする時に重要な事（主なもの3つ選択）



- 『子どもをもうけようとする時に重要な事』は「頼りになる人が近くにいること」「経済的余裕があること」が、妊婦調査と就学前調査ともに高率であり、「出産や子育てに必要な医療機関などが、地域に整備されていること」、「こども園、保育園が、地域に整備されていること」は妊婦調査で高く、「子育て支援の環境（放課後児童クラブなど）が整備されていること」は就学前調査で高かった。

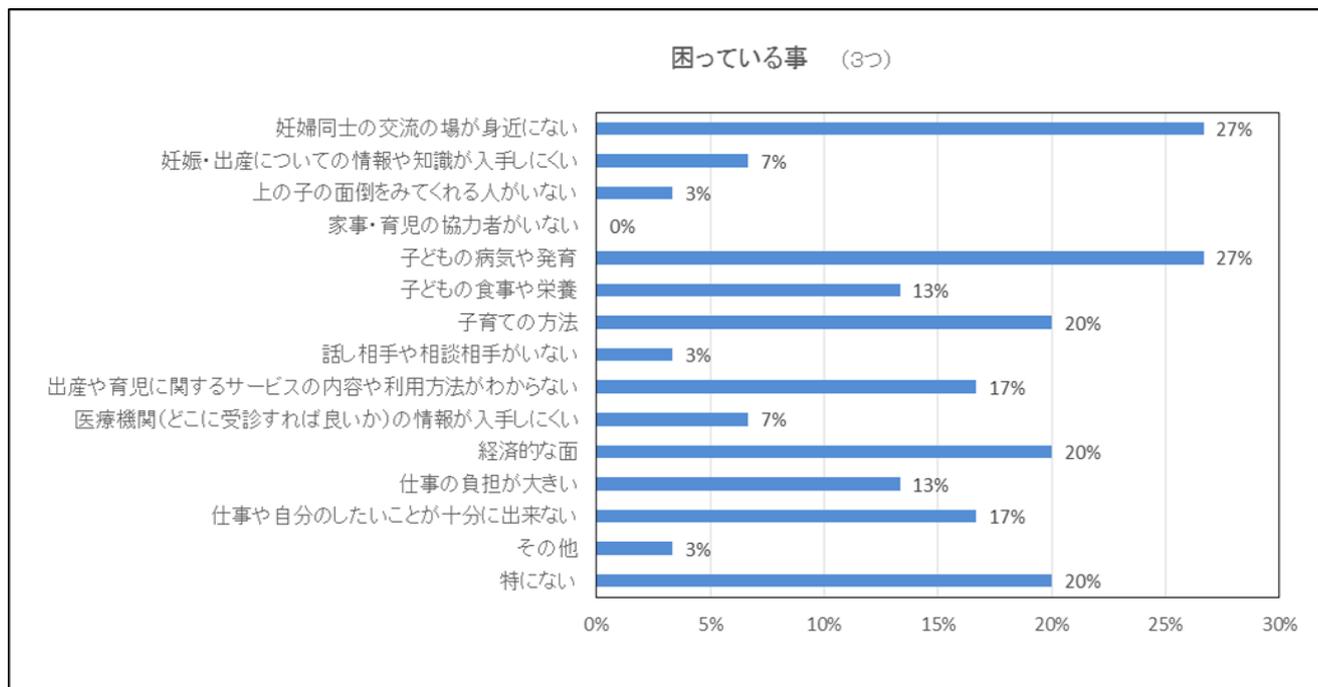
(2) 育児休業の取得について



- ・妊婦調査では、60%以上が育児休業を取りたいと思っており、子どもが10ヶ月から1歳までの期間の取得を考えている者が最も多かった。また、回答者の9割が10ヶ月から2歳の期間までの育児休業取得を希望している。
- ・配偶者の40%が育児休業は「取れない」と回答しており、職場に男性の育児休業制度がないことや、制度があっても休める環境ではないことが伺える。取得希望の配偶者は10%程度にとどまるが、取得希望期間は3ヶ月未満から1歳までと期間にばらつきがある。

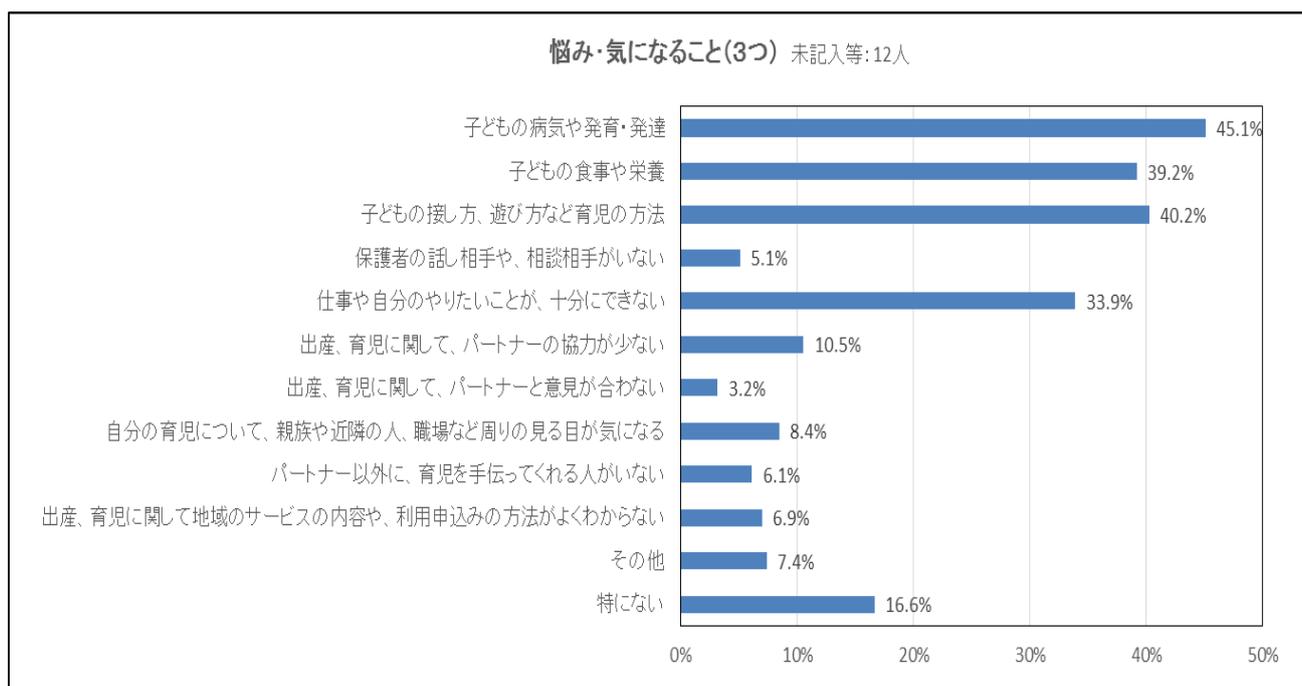
(3) 妊娠・出産・育児で困っている事

【妊婦調査】



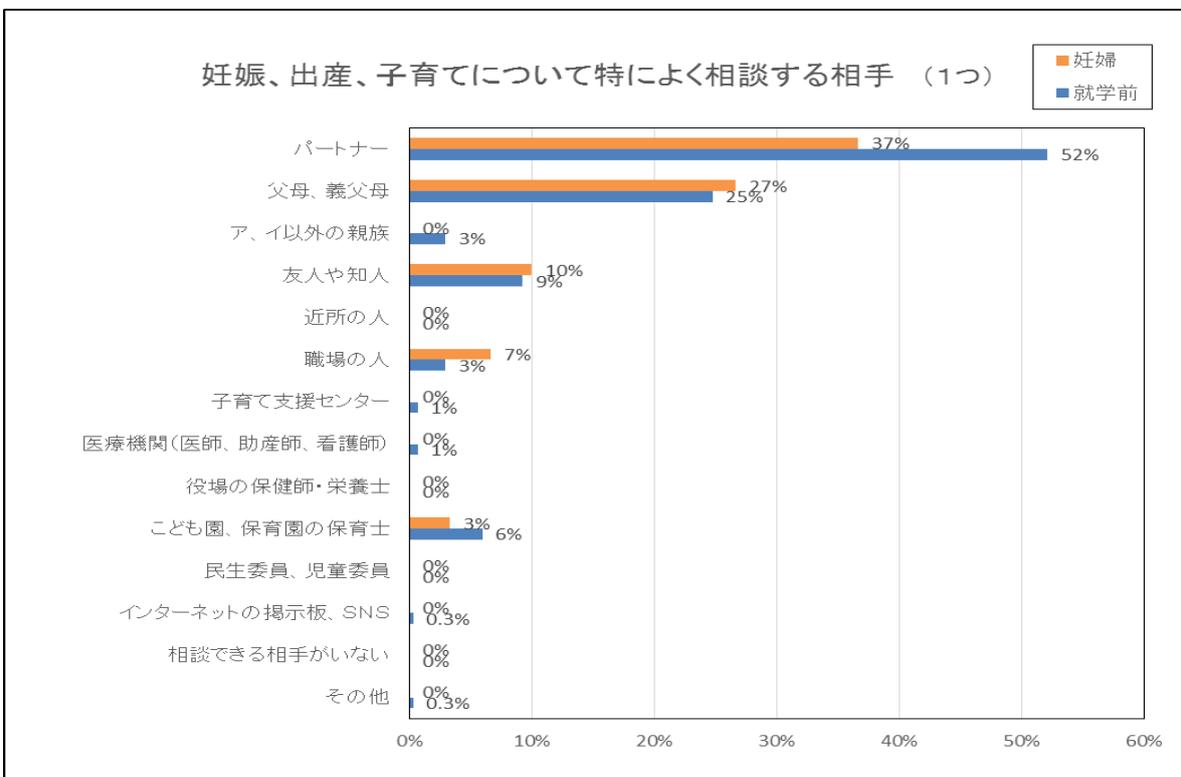
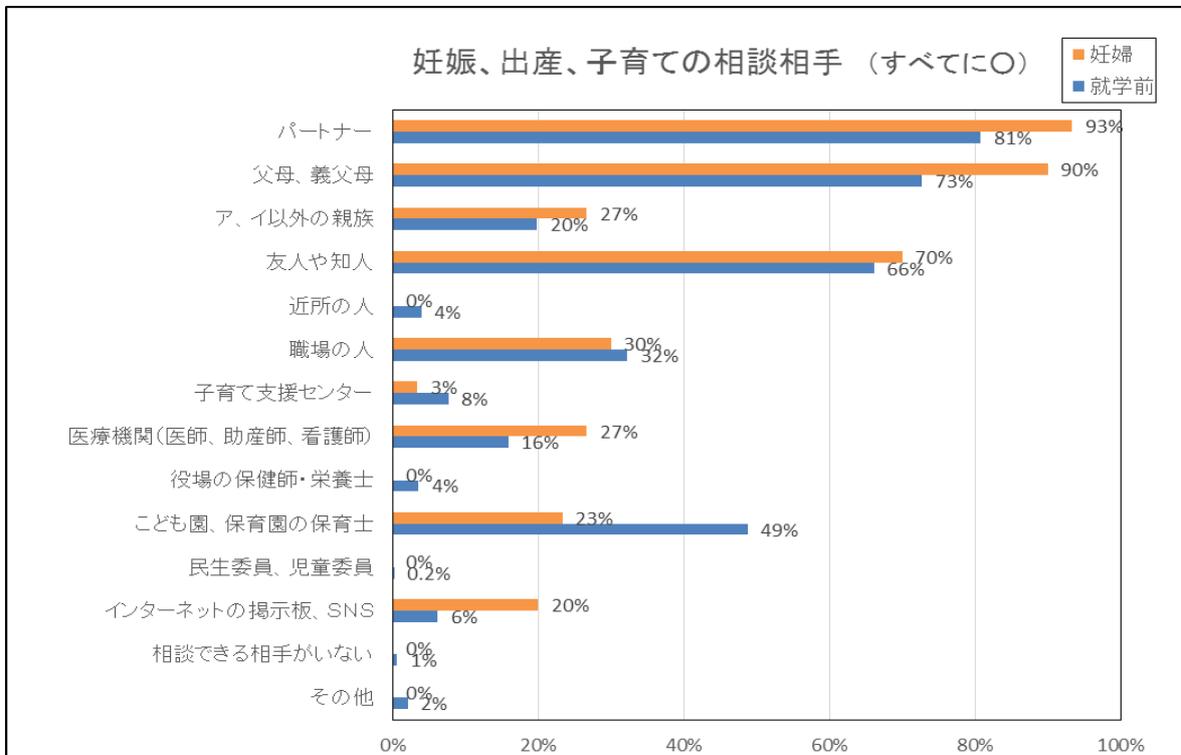
- ・妊娠中困っている事では、「身近に妊婦同士で交流できる場がない」ことや、上の子や胎児の「病気や発育」と回答する者が最も多い。次に「子育ての方法」や「経済的な面」の回答が多い。
- ・「家事・育児の協力者がいない」という回答者は無く、核家族世帯・ひとり親世帯の妊婦も誰かしらの協力が得られていると考えられる。

【就学前調査】



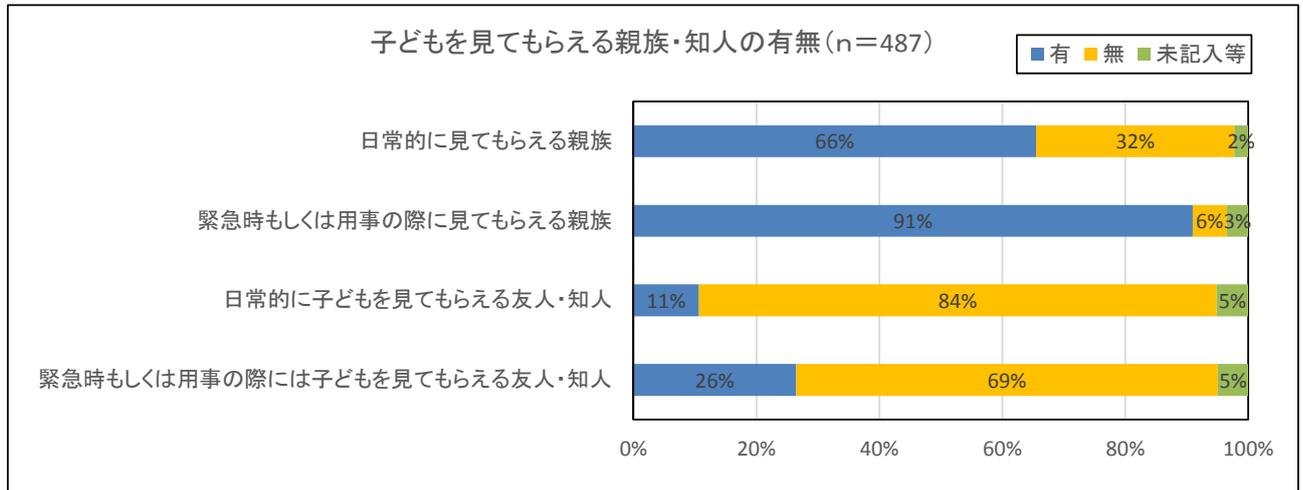
- ・就学前調査では、「子どもの病気や発育・発達」に悩む者が最も多く、「子どもの食事や栄養面」、「育児方法」、「自分のための時間が十分に取れない」という悩みを抱える人も30～40%程度みられた。

(4) 不安や悩みの相談相手



- ・妊婦調査、就学前調査ともに、相談者は「パートナー」「父母、義父母」「友人や知人」の順に多く、日常的に関わりのある「職場の人」や「こども園・保育園の保育士」も身近な相談相手となっている。

(5) 支援者の有無について（就学前調査のみ）

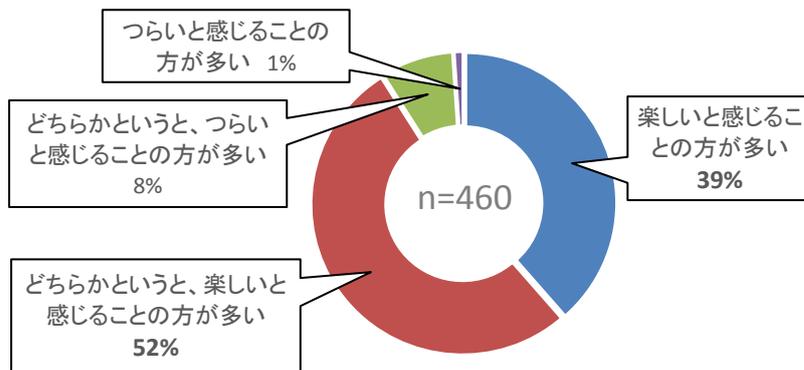


- ・親族に「日常的にみてもらえる」者は66%、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる」者は91%あり、さらに知人の支援を受けられる世帯もある。

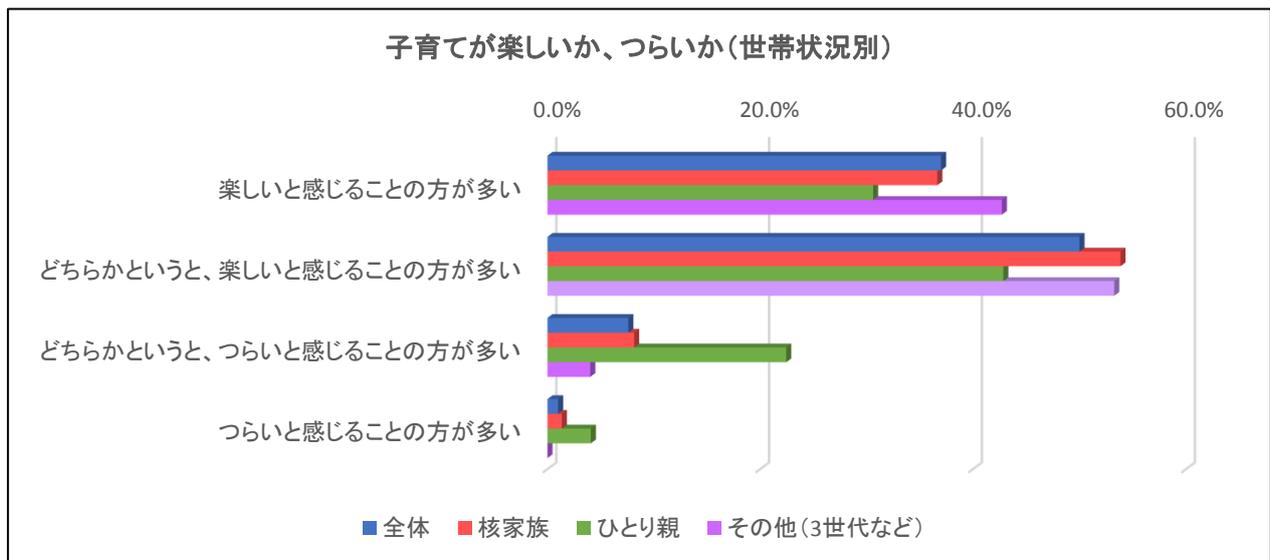
3 世帯状況別子育ての負担感

【就学前調査】

子育てが楽しいか、つらいかの割合(全体)

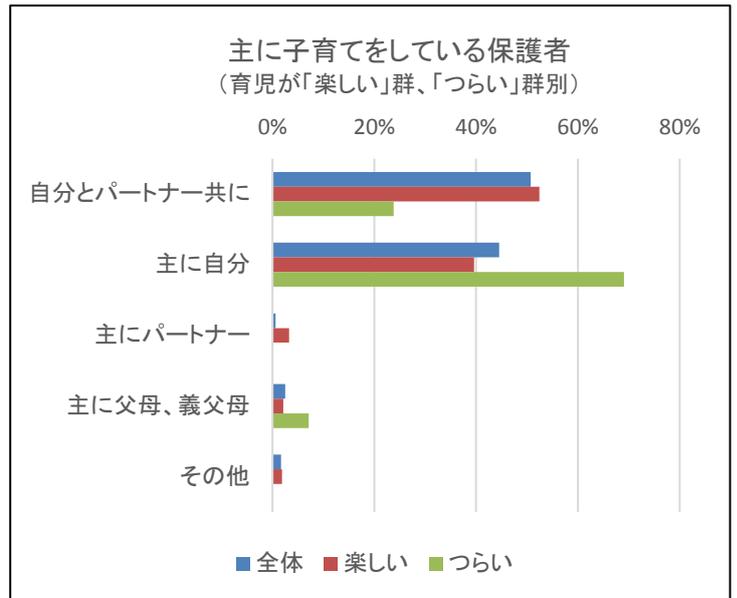
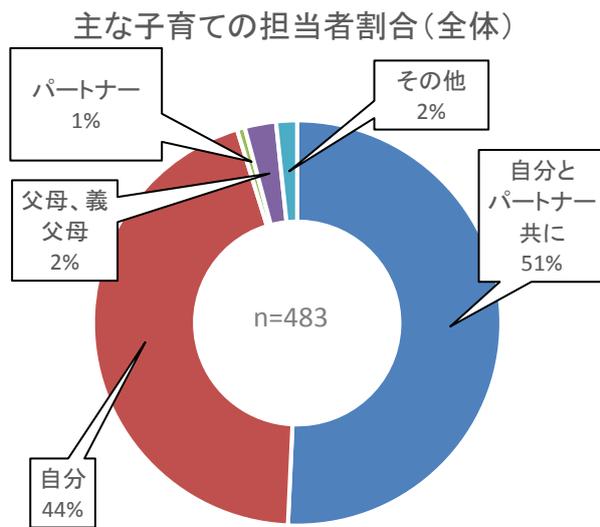


(1) 世帯状況別の子育ての負担感



- ・全体では、「楽しいと感じることの方が多い」「どちらかいうと、楽しいと感じることの方が多い」の合計は90%以上（以下、「楽しいと感じる群」）であり、子育てを楽しんでいる世帯が多い。一方で、「どちらかいうと、つらいと感じることの方が多い」「つらいと感じることの方が多い」の合計は9%（以下、「つらいと感じる群」）ある。
- ・「その他（3世代など）」の世帯は、「楽しいと感じる群」が、他の2つの世帯より多い。一方で、「ひとり親」世帯では、「つらいと感じる群」が他2つの世帯より多かった。

(2) 主な子育ての担当者別の育児の負担感

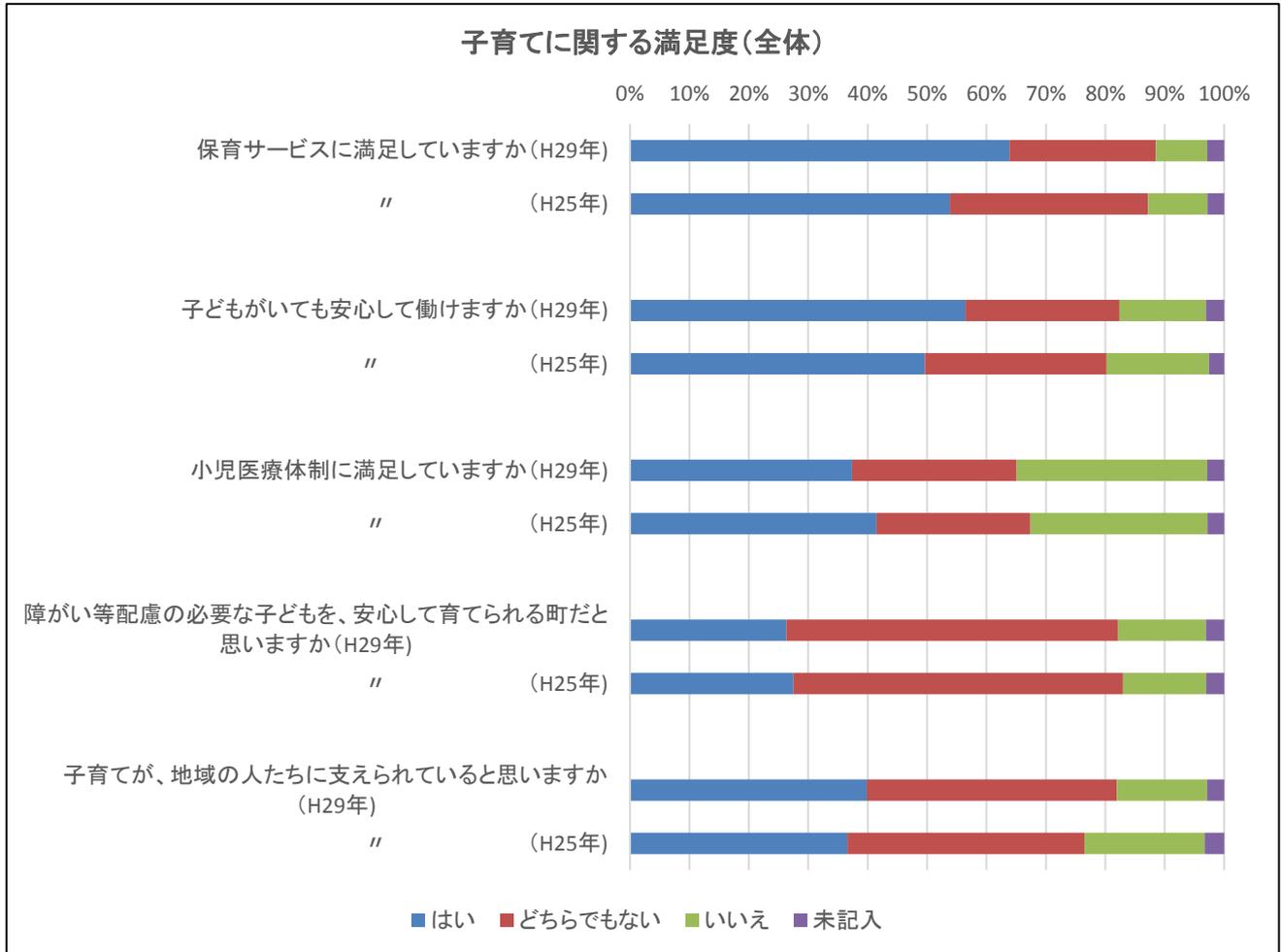


- ・子育てを担当しているのが「主に自分」と回答した者は、子育てを「つらいと感じる群」が多く、「自分とパートナー共に」と回答した者は、子育てを「楽しいと感じる群」が多い。協力し合っ
て子育てをすることは、子育ての負担感を減らし楽しさへとつながっていると思われる。

4 子育て支援ニーズについて

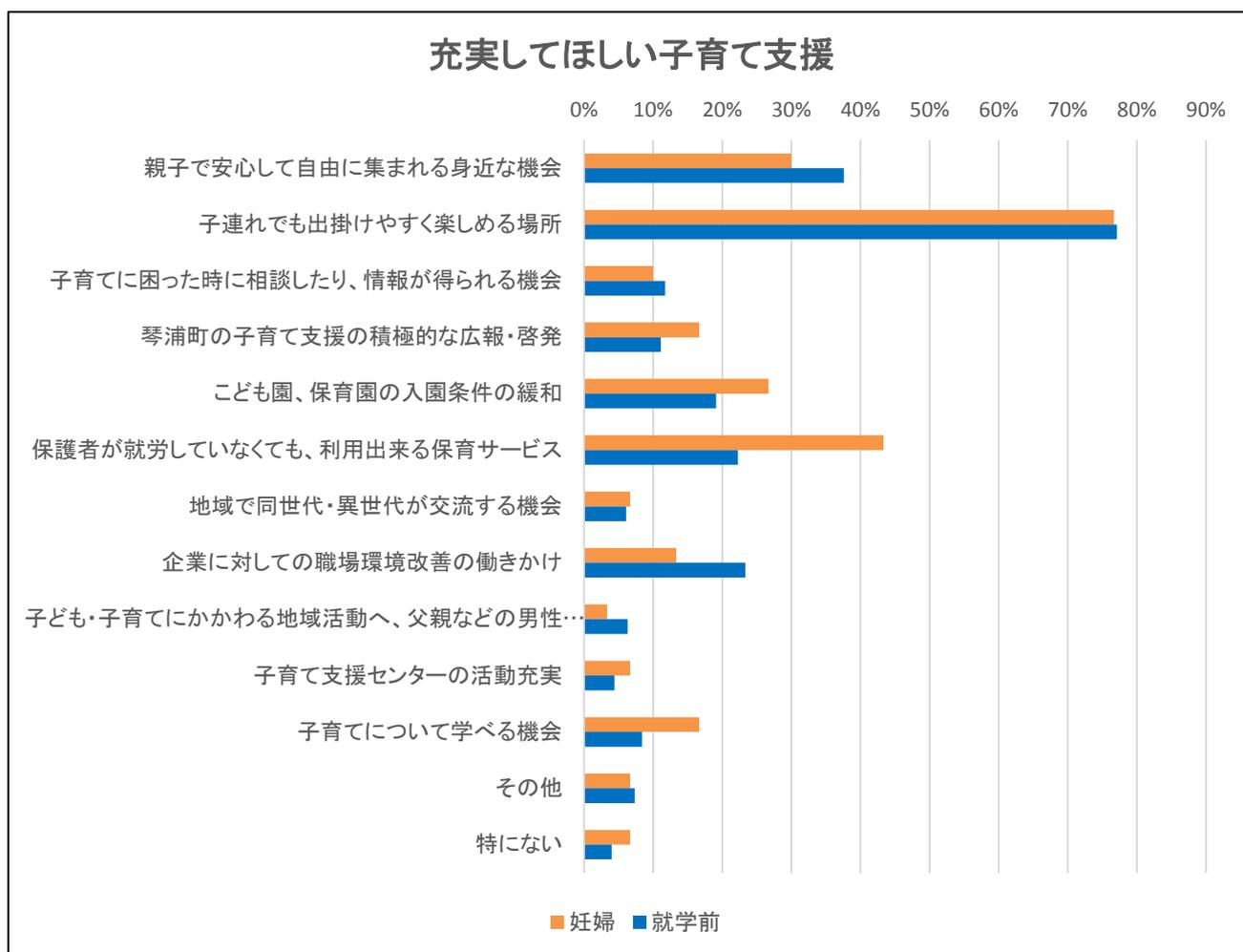
(1) 子育てに関する満足度

※「琴浦町子ども・子育て支援に関するニーズ調査（H25）」との比較

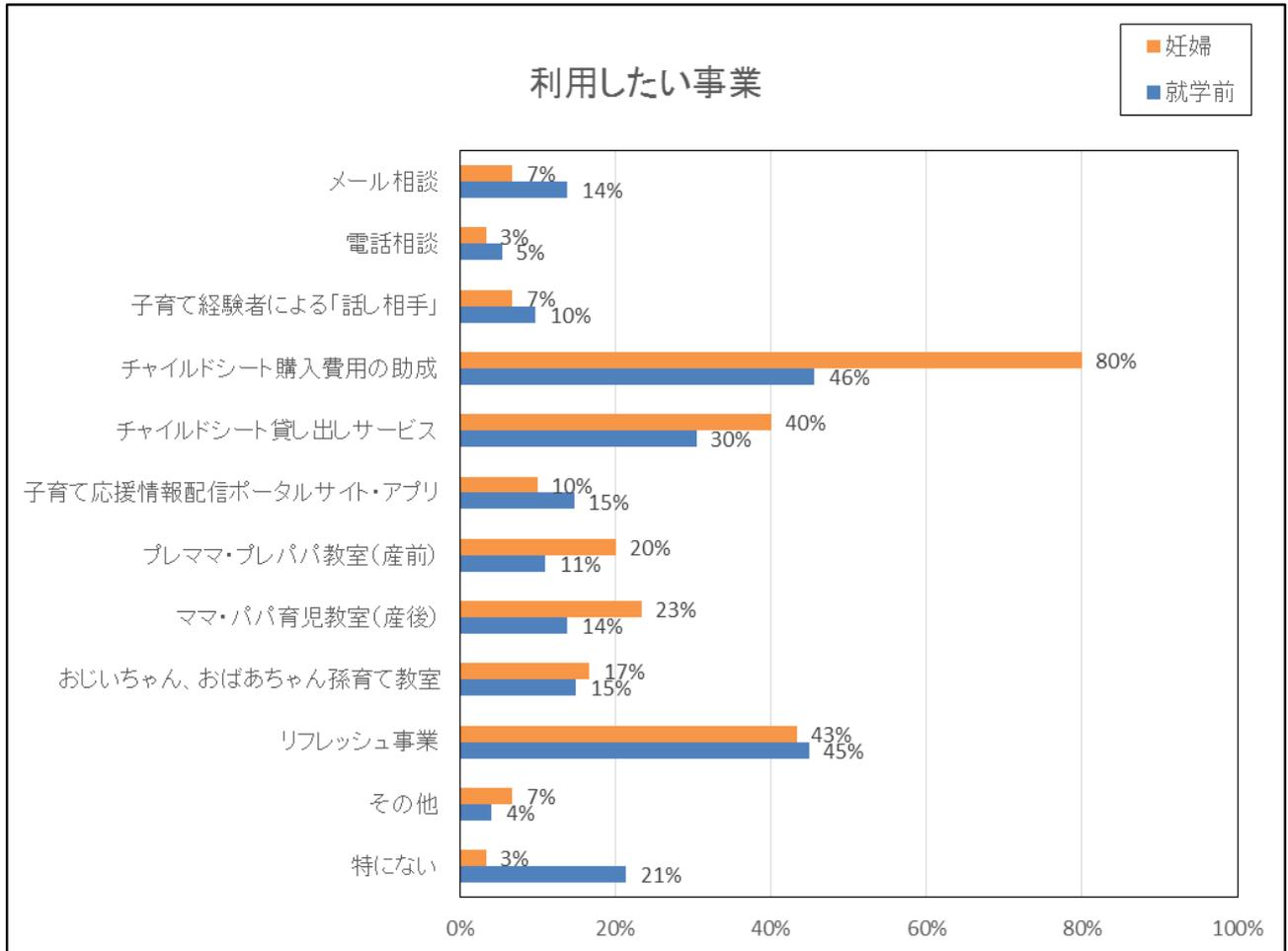


- ・「保育サービス」、「子どもがいても安心して働ける」、「地域の人たちの支え」の項目で、「満足している」と回答した者が、前回調査から5~10%程度増えている。特に「保育サービス」は60%以上の者が満足と感じており、全体で最も高い満足度だった。
- ・「小児医療体制」に「満足している」と回答した者はやや減少している。
- ・「障がい等配慮の必要な子どもを安心して育てられる町だと思うか」という項目に「はい」と回答した者は約25%で、全体で最も低かった。

(2) 子育て支援の充実

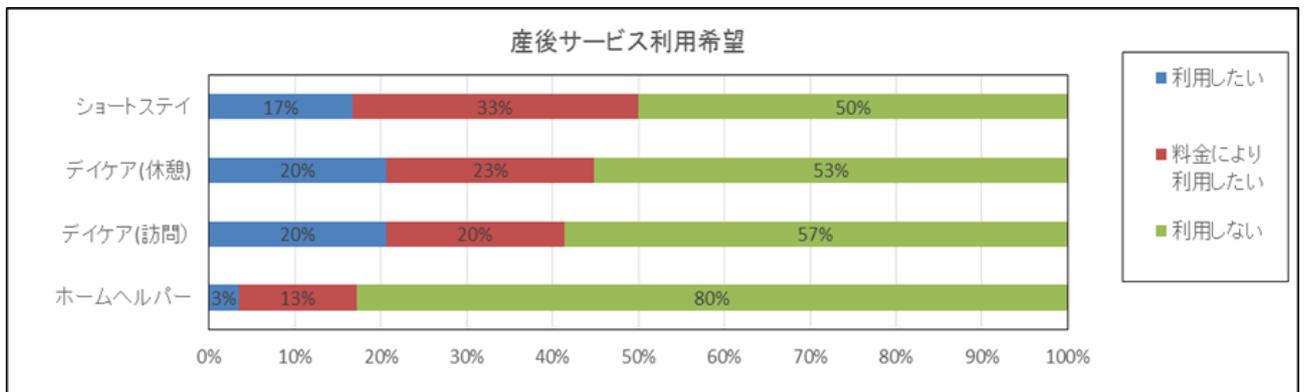


- ・妊婦調査、就学前調査ともに「子連れでも出掛けやすく楽しめる場所」を望む率が最も高く、また保育サービスに関する項目で充実を望む率が高かった。
- ・就学前調査では「企業に対しての職場環境改善の働きかけ」の充実を望む率が高かった。



- ・利用したい事業は「チャイルドシート購入費用の助成」が、妊婦調査 80%、就学前調査 40%と最も高く、「チャイルドシート貸し出しサービス」も妊婦調査 40%、就学前調査 30%と高かった。
- ・リフレッシュ事業も妊婦調査、就学前調査とも利用希望が高かった。

(3) 産後に利用したいサービス・事業



- ・妊婦調査では、産後はショートステイの利用希望が 50%と最も高かった。次いでデイケア(休憩)の希望も多く、短時間でも身体を休められるサービスへのニーズがある。